

6つの重点テーマに沿って主な事業を紹介します

平成23年度 甲賀市予算編成方針は…

総合計画の実現に向けた重点的かつ戦略的な財源配分

行財政改革の着実な実践とともに、市政経営の羅針盤となる「甲賀市総合計画」の実現のため、市民ニーズや経済情勢などを踏まえ、特に優先すべき6つのテーマに沿った施策を重点施策として位置付け、重点的かつ戦略的に推進

《6つの重点テーマ》

- ①人のきずなと元気を育むまちづくり
②子どもがいいきと育つ環境づくり
③地域の資源を活かした元気な産業づくり
④高速道路等を活かした賑わいづくり
⑤安全・安心で世代や地域を越えた活発な交流のあるまちづくり
⑥みんなで支えあつ地域コミュニティづくり

財政健全化に向けた着実な取り組み

プライマリーバランスの黒字化の継続
将来世代へ負担を先送りにせず、財政の中長期的な持続可能性を確保するため、市債の新規発行を抑制
市債の元利償還 44億629万円
市債の新規発行額 33億3,880万円
(うち地域情報化基盤整備事業 14億3,920万円)

1 人のきずなと元気を育むまちづくり

新(仮称)甲賀市社会福祉活動センター整備事業 1億3,500万円
市民活動団体が地域福祉活動を行うボランティアセンター、甲賀市社会福祉協議会の甲南地域活動センターおよび甲南地域居宅介護事業所の拠点として整備します。
新子宮頸がん等ワクチン接種事業 9,432万円
子宮頸がん予防(HPV)ワクチン等の接種を無料で行います。
新(仮称)就労サポーター設置事業 201万円
甲賀市・湖南市域で共同設置している「障害者働き・暮らし応援センター」の体制を充実し、新規就労者数の増加を図ります。
新福祉と人権のまちづくり事業 400万円
「賃貸住宅への入居拒否」「外国人の居住地域など、不動産取引に係る様々な差別の解消に向けた取り組みを行います。

2 子どもがいいきと育つ環境づくり

新小学生通院医療費助成事業 1,200万円
市民税が非課税の世帯の小学生を対象として通院医療費の助成を実施します。
新保育園・幼稚園発達支援巡回訪問事業 500万円
発達障害などで支援が必要な園児の早



子どもたちの健やかな成長のために

新(仮称)一時預かり保育事業 1,174万円(うち新規426万円)
子どもに対する虐待の未然防止を図るため、従来の事業に加え、23年4月1日以降に生まれる生後6か月〜1歳6か月の乳幼児には無料で利用できるクーポン券を配付します。
新(仮称)教育相談体制整備事業 902万円
不登校傾向や発達障害などで悩みをもつ子どもや、保護者、教職員を対象として、臨床心理士による教育相談事業を実施します。
新(仮称)保育園・教育施設空調設備整備事業 1億1,650万円
熱中症対策として、冷房機器が未整備の市立保育園や小中学校、ことばの教室に空調設備を設置します。

特別会計・公営企業会計

Table with columns: 会計名, 年度, 23年度, 22年度. Rows include 国民健康保険, 老人保健医療, 後期高齢者医療, etc.

市債残高の推移
平成18年度末 約439億円
平成23年度末 約370億円(約69億円の減)
実質公債費比率の低下により、市債の発行に県の許可を要する起債許可団体から脱却する見込み
行財政改革の着実な実践
事業効果や市民との協働の視点から事務事業を見直し、予算に反映させる
歳入の確保
市税や各種料金などの滞納の解消策の実行

3 地域の資源を活かした元気な産業づくり

新(仮称)新貴生川認定こども園建設補助事業 4億1,371万円(うち一般財源1億3,790万円)
待機児童を解消するため、民間学校法人による幼稚園と保育園を一体化した「認定こども園」の建設を支援します。
新(仮称)新柏木・伴谷小学校、甲賀中学校耐震補強・大規模改造事業 2億3,710万円
耐震補強や老朽化した施設の大規模改造を行います。
柏木小学校は耐震補強・大規模改造工事、伴谷小学校と甲賀中学校は改造工事のための設計を実施します。
新(仮称)鳥獣害侵入防護柵設置事業 1億9,190万円
二ホンザル、イノシシ、ニホンジカなど野生動物による農作物への被害が年々拡大・深刻化しているなか、防護柵の設置などを推進し、農作物被害の軽減と農業経営の安定化を図ります。
新(仮称)新獣害に強い里づくり事業 210万円
「集落環境点検」で明らかになった課題



工夫を凝らして行われる鳥獣害対策

「緊急雇用創出事業臨時交付金」や「滋賀県公共投資臨時交付金」など国・県の経済対策関連交付金を有効に活用
未利用地の売却・有効利用などによる財源の確保
その他の取り組み
創意工夫により特別な予算措置をすることなく推進する「ゼロ予算事業」や、地球温暖化防止に向けた「環境配慮事業」にも新たに取り組みます。



多様な効果があるといわれる茶の生産を支援

新(仮称)有害鳥獣捕獲事業(ニホンジカ対策) 1,480万円
二ホンジカの捕獲に適した狩猟期間にも報奨金制度を導入することで個体数調整を促進します。
新(仮称)都市農村交流事業 3,358万円
中山間地域において地域資源を活用した体験プログラムを実施するとともに、宿泊が可能な体験交流滞在施設を整備して、短期滞在型の都市住民と地域住民との交流事業を促進します。
新(仮称)甲賀の茶生産振興事業 1,100万円
高級茶の生産拡大を図るため、かぶせ茶などの生産農家を支援します。また、市内の小中学校で甲賀のお茶に親しんでもらうことで、地産地消を促進し、リーフ茶の消費拡大を図ります。



※企業会計の予算額は、「収益的支出」と「資本的支出」の合算とする。